

# 第3回げんきプラザの在り方検討に関する有識者会議 議事概要

## 日時

令和5年11月17日（金）10：10-11：17

## 開催方法

対面とオンラインによるハイブリッド開催  
会議の様子はZOOMウェビナーにて配信

## 議事

げんきプラザの在り方検討に関する有識者会議提言（案）について

## 参加者（座長・副座長以下、五十音順）

坂口緑委員（座長）、青山鉄兵委員（副座長）、安藤秀一委員、鈴木秀明委員、星野敏男委員、松村純子委員

## 主な発言

- 資料8ページにおいて、各施設の日帰り利用と宿泊利用の割合をみると、かなり二極化していると感じた。宿泊利用が少ない施設は、宿泊機能を生かしたプログラムをより強く示していくことが重要になってくる。宿泊利用が少ない状況であれば、県民や子供たちにとって有益な事業を実施しているということを対外的に示していけないといけないと思う。
- 宿泊しやすい、あるいは宿泊の質を上げていくためにどうすればよいかという点を考えたときに、1泊、2泊して活動するためのプログラムが乏しいと利用にはつながらないので、数日又はある程度長期宿泊をした場合であっても、しっかり活動ができるようなアクティビティーが用意されているのかという点もすごく重要である。また、それが集団での活動に適したものか、雨が降った場合にも対応できるのかといった点も重要である。
- 特別支援学校や学級の利用も考えたときに、車椅子で使えるような設備になっているかというバリアフリーの観点、また、ジェンダーの観点も重要である。もちろん、男女別の共同生活が原則になるが、集団で利用することを前提

とした大浴場しかないという状況について、その枠が苦しいと感じる利用者に対応するためのトイレや宿泊部屋、浴場などをしっかり整備しておくことは、宿泊の質を高める施設整備を考える上ではとても重要な視点である。

- バリアフリーやジェンダー等、社会状況や環境に配慮した施設設備を整えることは非常に重要であるが、その前提として、施設が快適であったかどうかという点が、今後、再び利用するかしないか、リピーターになるかならないかというところに直結すると思う。そういった意味で、暮らしの基盤となるトイレや水道など、利用者がよく使う場所を快適かつ清潔に保つという点は当然に重要である。
- 学校利用を促進していくのであれば、学校現場では、現在一人一台、タブレット等の端末を所持し、授業等で活用する状況が当たり前になっている。野外で行う体験活動においても、児童生徒が探してきたものを、タブレットを活用して学習することが考えられる。また、例えば炊事における注意事項、道具の扱い方、ご飯の炊き方、火の燃やし方などを動画コンテンツで見たうえで実践するということも考えられるので、例えば、Wi-Fi 環境を整備するなど、施設としても対応を求められる状況にあると思う。
- 若手の教職員も大変増えてきている。その若手教職員が子供の頃に、野外炊事や自然体験の経験が、非常に少ないというのが現状がある。そのため、野外炊事や自然体験の指導者がしっかり確保されてないと、学校側が、安心して施設を利用できないという状況もあるかと思う。施設設備の改修等も重要であるが、併せて体験活動の指導者等の人材もしっかり確保してもらえると、学校の利用に繋がるのではないかと考える。
- 学校で施設を利用して体験活動をする際に、これができてないから危ないからこうしなさいなど、教員が体験活動のやり方などの指導にばかり時間をとられることは望ましくないと思う。教員は体験活動を通じて学んでいる子供を間近で見て、普段学校では見ることができない様子などを観察し、その子の良い部分を見つけることに集中したいと思っている。そうした点で体験活動の専門家をしっかり揃えていただけると、学校は安心して施設を利用できると思う。
- 学校利用についても、県内のすべての学校が利用する想定にはなっていないと思う。県として、各施設の周辺にある学校の設置状況や宿泊のニーズを把

握し、年間を通じてどの程度呼び込めるのか予測をたてた方がよいと思う。

- げんきプラザの機能をどのようにブラッシュアップしていくのか考える上では、施設ごとに設置場所や保有しているコンテンツ、収容人数等が異なるので、どれぐらいのニーズがあるのか、どれぐらいの稼働率が見込めるのか等の計算をしていく必要がある。その上で、各施設の機能を特化させていくなど、施設として個性を打ち出していく時に、他の施設で足りないものを補うなど、施設同士で様々な連携をしていくことは十分考えられる。
- げんきプラザ同士の連携や施設ごとに特徴を持たせるということが、これからの施設の在り方を考える上で重要だと思う。その観点でいうと、同じ特徴を持つ施設が複数箇所あるのであれば、施設をまとめるということも選択肢のひとつだと思う。
- 学校等に対する出前講座は、げんきプラザが実施している魅力的な取組の一つであるが、出前講座だけで完結するのではなく、げんきプラザに来てもらえばもっとすばらしい体験活動ができると、相手方に思ってもらえることが重要である。実際に施設に来てもらい体験してもらうことを重視し、出前講座を呼び水として活用することが大切である。